

令和7年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	知事公室
日 時	令和7年(2025年)4月22日(火)16:40~17:20
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、江島副知事、岸本副知事、知事公室長、総合企画部長、総務部長、総務部管理監 知事公室次長、秘書課長、秘書課主席参事、広報課長、防災危機管理局副局長、防災対策室長、 原子力防災室長

発言者	発言概要
総合企画部長	応答性の話について、イメージや理屈的にはわかるが、実際に来ている意見は反映できるものばかりではないので難しいと思うが、どのようにやっていくのか。
広報課長	Chat GPTなどのAIをベースに、これまでの知事への手紙などへの回答内容を学習させて、一定、滋賀県版にカスタマイズした上で、即応性を担保しながら声を集めていこうと思っている。ただ、答えづらいものなどには、職員が一定把握、フォローしながら、まずは動かして声を集めていきたいと思っている。
総合企画部長	国のバブコメで、同じ意見をコピー&ペーストしたものが、何千件も届いたことがあった。一生懸命に答えようとすればするほど歪むというか、多数の声として機械的に扱うと、うまく利用されてしまうので、基準を持っていないと難しい。本当に県民の声、県政に対する声が取れているのか、どう反映するのかは、引いて見ないといけないかもしれない。声の取り方もなぜそのトレンドを見るのかを持ったうえで、声を取らないと間違った読み方をしてしまうかもしれない。 また、びわ湖放送に職員を出演させることは勉強にもなるし、良い機会なので、様々な媒体や機会を用意していただけるとありがたい。
知事	県職員は、撮られる経験が少ないので、場を和ませたり、この場面ではどういう写真を撮るべきなのかわからない。こういう経験をどんどんさせてあげればよい。
総務部長	次期ホームページの作成については、刻々と時代が動いていて、若い人など、見方や使い方など年代によって違うので、様々な使われ方を想定した内容を検討してもらいたい。これに関連して、びわ湖放送みたいなテレビも、若い人はほとんど見ない状況がある中で、経営も順風満帆でないところをどううまくリンクしていけるのか、考えてほしい。
知事	次期ホームページに向けた進捗は順調か。
広報課長	順調であり、今年度から移行作業に入る。庁内全体に対し、作業の進捗を見せられていないところもあるので、作業の見える化を行っていききたい。情報発信の基盤になるのがやはりホームページだと思っているのでしっかり作っていききたい。
知事	びわ湖放送の経営が気になっている。
広報課長	びわ湖放送についても、YouTubeなどスマートフォンで撮ったものがそのまま流れるような機動性を高めることができるのではないかとと思っている。テレビ局だけがコンテンツを作るのではなく、SNSのように個人が作ったものを電波で広く伝播していくようなこともあっても良いのではないかとと思っている。
知事	びわ湖放送は民間事業者ではあるが、県は最大の株主として経営に、もしくは経営改革にどうコミットメントするかは知恵のいるところ。
東副知事	防災情報システムと防災アプリをどう連携させていくのか。
防災危機管理局副局長	防災アプリについては、土木防災情報システムの水位や雨量を県民の方にお伝えし、避難行動に結びつけていく機能があり、一方で当局で所管する防災情報システムも、そちらとも連携して災害情報を迅速に把握できるよう検討を進めていく。

東副知事	現場からの報告が人手を介さずに繋がっていくので、スムーズになるかと思うが、水害や豪雨はある程度予想できるが、地震となると現場の方は救助に意識が向き、情報伝達が後回しになるので、工夫がいる。災害発生時にはライフラインが寸断されるとシステムがダウンするので、アナログの伝達方法も大切な面もある。バックアップも併せて検討してもらいたい。
防災危機管理局 副局長	システムだけに頼り、人が何もできなくなるのは問題だと思うので、バランスをしっかりと考える必要があると思う。
知事	防災危機管理局のメンバーを中心にいざという時のことを想定して備えてもらわないといけないので、苦労をかけるけれども意識高くやってほしい。あと、条例ができて何をするのかをみんなで考えなければならぬのではないかな。防災会議のメンバーの知見をいただき、充実させたらどうか。
防災危機管理局 副局長	1月の防災会議でも皆さんに活発に意見をいただき、参考になったので、具体の中身をしっかりと考えてみたい。
知事	防災会議に参画いただいている多様な方々とのコミュニケーションを密にし、いざというときに備えよう。また、原子力防災のバージョンアップは必要で、広域避難のとき、バス避難はたぶん無理で自家用車で動くと思う。そういう時にどうするのかも併せて考えておこう。例えば、安定ヨウ素剤も取りに来る前提なら、配っておいたらどうか、など。
原子力防災室長	想定外と言わないようにする。
知事	知事公室は橋渡し役だというのはその通りだと思う。今年度は様々なビッグイベントがあり多忙なので、より連携を密にしたいのでよろしくお願いします。